

<東大阪市>

1. 学校図書館に関する具体的方策や行政からのサポートについて

- ・WIN 書庫を活用した学校図書館蔵書管理システムの運用
- ・小学校における、公立図書館との連携

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

市教育研究会に東大阪市立小・中学校図書館教育研究会がある。小学校、中学校それぞれの総会・研修会・読書感想文（感想画）審査会に加え、1月には小中合同研修会を実施した。

3. 図書館教育研究会の活動について

◎小学校 総会および講演会

- ・「教師のための図書館利用方法について」
…大阪府立中央図書館

◎中学校 総会および研修会

- ・「ビブリオバトル（書評合戦）について」
…大阪府教育庁 市町村教育室
地域教育振興課

◎学校図書館夏季セミナー、府学校図書館研究会、府市合同学校図書館研究会等への参加

◎読書感想文合同審査会（小・中学校）

◎平成30年度 読書感想文応募作品数

- ・読書感想文代表作品決定

○9月19日（水）小学校読書感想文コンクール
審査会 応募総数7316作品

（低学年）自由読書1219、課題読書265

（中学年）自由読書2394、課題読書366

（高学年）自由読書2823、課題読書249

○9月27日（水）中学校読書感想文 東大阪市
審査会（於：布施中学校）

25校の図書館教育担当者による合同審査会

応募総数8827作品（自由読書8656、課題読書171）

◎小学校教科研究会B授業研究会 平成31年1

月23日（水）

「ミニビブリオバトル（書評合戦）に挑戦」 縄手北
小学校3・5年（於：市立東体育館大会議室）

講師：豊中市立中豊島小学校

司書教諭 川畑 存映

4. 学校図書館の蔵書管理方法について

市立全小中学校でデータベース化し、
バーコードによる貸出。

<柏原市>

1. 学校図書館に関する具体的方策や行政からのサポートについて

- ・読み聞かせのボランティア派遣
年間 10回
- ・柏原市立図書館との連携
図書館司書による出前授業
 - ・ブックトーク
 - ・本の修理講座
 - ・図書館のお話
- ・放課後子ども教室での読み聞かせ

2. 学校図書館関係の組織形態と活動について

- ・市教育研究会に図書館教育部がある。
月1回、小中の担当者が集まり、会議や
交流会、読書感想文関連の作業、研修等
を行った。

3. 図書館教育研究会の具体的な活動について

- ・読書感想文審査会

《小学校》 2592 作品

低学年 自由図書 334 課題図書 156

中学年 自由図書 702 課題図書 238

高学年 自由図書 756 課題図書 406

《中学生》 476 作品

自由図書 452 課題図書 24

- ・読書感想画

読書感想画については、応募がないため、
今後、図書館部会で応募に向けた広報を行
っていく。

- ・小中交流会

ディスプレイの方法、整理の仕方、
読書活動の活性化、市図書館との連携な
どについて各校の取り組みを紹介。

- ・講習会

柏原図書館より、本の修繕方法などに
ついての講習会をしてもらった。

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・図書原簿（契約時点で書店がデータ作成）
による。
- ・データ管理をしている学校もある。

<八尾市>

1. 各市町村の学校図書館に関する具体的方策や、行政からのサポートについて

- ・各小学校に週16時間、中学校には週8時間、図書館サポーターが配置されている。
- ・市立図書館からの長・短期貸し出しを利用でき、また、市立図書館図書ネットによる検索、予約、新着図書の紹介など、連携を進めている最中である。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

- ・市教育研究会に学校図書部会があり、各小中学校から代表が集まり、会議、読書感想文選定、実践報告、研修会と1年間に数回行っている。

3. 学校図書館の具体的な活動例について

【大正中学校による実践報告】

テーマ：学校図書館活性化を目指して

～足を運んで、本を手にとってみたくなる学校図書館づくり～

大正中学校での図書館利用の大きな課題として、利用生徒の固定化、利用図書の固定化が挙げられる。大正中学校では、その課題を解消し、生徒たちが学校図書館と本に親しみを持てるように、図書担当を中心にいくつかの取り組みを行っている。

- ・取り組みについて

①朝読：全学年で8時30分から8時40分までの10分間、毎日行う。

*学級文庫は、各クラスに図書室が本の種類をある程度統一して準備している。

②図書便り：毎月、初旬に発行。掲載の内容として、図書室や学級文庫利用のルール、今月のニュース、先月のランキング、図書委員のおすすめ本の紹介など

③テーマコーナーの設置：月毎にテーマは、変える。例：4月「昨年度の人気ベスト20」5月「部活動」6月「友だち・仲間」など、図書委員が選んだ本のPOPやコメントを書き、併せて展示している。

④図書室利用状況の可視化：クラス別貸し出し冊数表・クラス別利用者数表など図書室内と廊下に掲示。

⑤おすすめ本の紹介・共有：図書委員がおすすめの本のあらすじやおすすめのポイント、イラストなどを用紙に記入して、図書室前に掲示し、

図書だよりも掲載している。

- ・成果

図書便りを発行した直後の開室日は、利用者数が増加し、友だちが作成したテーマコーナーを見に来たり、自分のクラスの図書室利用状況を知るために、図書室に足を運ぶ生徒も見受けられる。以前と比べて、利用者数、貸し出し冊数が増加傾向にあることから、図書室の利用率が取り組みにより上昇しているといえる。

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・市の教育サポートセンターが管轄し、各学校の蔵書をデータベース化し、バーコードによる貸し出し業務を行っている。